PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2001-099218

(43)Date of publication of application: 10.04.2001

(51)Int.CI.

F16F 9/54 B60G 15/06

F16F 9/32

(21)Application number: 11-278641

(71)Applicant : BRIDGESTONE CORP

(22)Date of filing:

30.09.1999

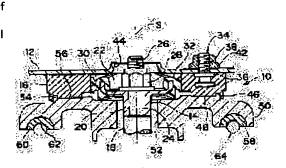
(72)Inventor: EJIMA KAZUYOSHI

(54) STRUT MOUNT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To attain lightness and make easy production for cost reduction.

SOLUTION: A body case 16 and a spring seat case 50 are made of resin or the like. On a lower surface of the case 16 and an upper surface of a spring seat case 50, slide surfaces 48, 56 composed of flat surfaces substantially orthogonal to an axis S respectively are formed annularly. The case 50 receives energizing force form a coil spring 64 and thereby a sliding surface 56 is brought into pressure contact with a slide surface 48 of the case 16. Accordingly, the case 16 and the case 50 are relatively rotatable through the surfaces 48, 56, and the relative rotation between a working shaft 18 of a shock absorber and a cylinder part (steering of wheel) is allowed. Relative radial and axial vibration between an inner metal fitting 14 and the case 16 are absorbed by an elastic body interposed between them.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特開2001-99218 (P2001-99218A)

(43)公開日 平成13年4月10日(2001.4.10)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FΙ		テーマコード(参考)
F16F		F16F	9/54	3 D 0 0 1
B60G 18	•	B60G	15/06	3 J O 6 9
	9/32	F16F	9/32	В
FIOR	,, 02			Α

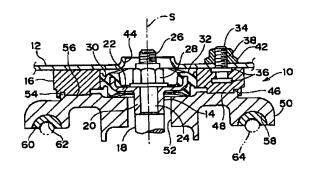
		審査請求 未請求 請求項の数5 OL (全 9 頁)	
	特顯平 11-278641	(71)出願人 000005278 株式会社プリヂストン	
(22)出顧日	平成11年9月30日(1999.9.30)	東京都中央区京橋1丁目10番1号 (72)発明者 江鳴 和善 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町1274-9-3 -503	
		(74)代理人 100079049 弁理士 中島 淳 (外3名)	
		Fターム(参考) 3D001 AA18 BA02 CA01 DA01 DA03 DA09	
		3J069 AA50 CC01 CC02 DD50	

(54)【発明の名称】 ストラットマウント

(57)【要約】

【課題】 軽量化を図るとともに製造を容易としてコストを低減する。

【解決手段】 本体ケース16及びスプリングシートケース50はナイロン等の樹脂により成形されており、本体ケース16の下面及びスプリングシートケース50の上面には、それぞれ軸心Sに略直交する平面からなる摺動面48、56が環状に形成されている。スプリングシートケース50はコイルスプリング64からの付勢力を受け、摺動面56を本体ケース160摺動面48に圧接させている。これにより、本体ケース16とスプリングシートケース50とは摺動面48、56を介して相対的に回転可能とされ、ショクアブソーバの作動軸18とシリンダ部との間の相対回転(車輪の操舵)が許容される。またインナー金具14と本体ケース16との間の径方向及び軸方向における相対振動が吸収される。



March at the state of the state

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ショクアブソーバのシリンダ部から突出 した作動軸が連結される内筒部材と、

前記内筒部材の外周側に同心状に配置された樹脂製の外 簡部材と、

前記内筒部材と前記外筒部材との間に配置されて内筒部 材と外筒部材とを連結したゴム製の弾性体と、

ショクアブソーバの外周側に配置されるコイルスプリン グを圧縮し、該コイルスプリングからの付勢力を受けて 前記外筒部材に回転可能に圧接した樹脂製のばね受部材 10

を有することを特徴とするストラットマウント。

【請求項2】 ショクアブソーバのシリンダ部から突出 した作動軸が連結される内筒部材と、

前記内簡部材の外周側に同心状に配置された樹脂製の外

前記内筒部材と前記外筒部材との間に配置されて内筒部 材と外筒部材とを連結したゴム製の弾性体と、

ショクアブソーバの外周側に配置されるコイルスプリン 方向へ付勢された樹脂製のばね受部材と、

前記外筒部材と前記ばね受部材との間に介在してばね受 部材を外筒部材に対して回転可能とするリング状の軸受 部材と、

を有することを特徴とするストラットマウント。

【請求項3】 前記軸受部材は、周方向に沿って互いに 摺動可能となるように接した―対の摺動リングを有する ことを特徴とする請求項2記載のストラットマウント。

【請求項4】 前記軸受部材は、インサート成形により 前記外筒部材又は前記ばね受部材に埋設固定されたこと 30 小さくするため軸受部材を配置する必要がある。しか を特徴とする請求項2又は3記載のストラットマウン

【請求項5】 前記外筒部材及び前記内筒部材の一方に 一体的に設けられたストッパ受部と、

前記外筒部材及び前記内筒部材の他方に一体的に設けら れ、前記弾性体の変形時に前記ストッパ受部に当接して 作動軸の軸方向への移動を制限するストッパ部と、

を有することを特徴とする請求項1,2,3又は4記載の ストラットマウント。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、車両のストラット式シ ョクアブソーバに使用されるストラットマウントに関す る。

[0002]

【従来技術】車両のフロント側のストラット式ショクア ブソーバに使用されるストラットマウントとして、ショ ックアブソーバの作動軸が連結されるインナー金具と、 このインナー金具の外周側に同軸的に配設された金属ケ ースと、前記インナー金具と金属ケースとの間に介在し てインナー金具と金属ケースとを連結したゴム製の弾性 体と、前記作動軸の外周側に配置されると共にショクア ブソーバのコイルスプリングにより金属ケースの方向へ 付勢され、この金属ケースに滑り軸受又は転がり軸受等 の軸受部材を介して回転可能に圧接したスプリングシー トケースとを有するものが知られている。

【0003】とのストラットマウントは、インナー金具 とスプリングシートケースとの間に配設される軸受部材 により軸方向に作用する荷重を受け止めながらショック アブソーバの作動軸とスプリングシートケースとの間の 相対回転(車輪の操舵)を許容し、かつインナー金具と 金属ケースとの間に介在された弾性体によりインナー金 具と金属ケースとの間の相対振動を吸収するように構成 されている。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】ところで、上記のよう に車輪の操舵を可能にするタイプのストラットマウント では、通常、インナー金具、金属ケース及びスプリング シートケースがそれぞれ金属によって形成されており、 グを圧縮し、該コイルスプリングにより前記外筒部材の 20 とれらの金属部品はプレス加工、かしめ加工、溶接等の 金属特有の加工方法を経て製造され、ショクアブソーバ に組み付けられている。このような加工方法は、樹脂部 品をモールド成形する場合と比較して多くの手間と長い 長い加工時間とを必要とする。このため、ストラットマ ウントの製造コストが高くなり、また重量が重くなると いう問題が生じる。

> 【0005】さらに金属ケースとスプリングシートケー スとが共に金属製であると、金属ケースとスプリングシ ートケースとの間には、相対回転時における摩擦抵抗を し、とのような軸受部材は、かしめ加工や溶接等の手間 のかかる加工方法により金属ケース又はスプリングシー トケースに固定する必要があり、このことも装置コスト が高くなる要因となっている。

【0006】本発明は、上記事実を考慮し、軽量化が図 れるとともに製造が容易となりコストの低減化が可能な ストラットマウントを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】請求項1記載のストラッ 40 トマウントは、ショクアブソーバのシリンダ部から突出 した作動軸が連結される内筒部材と、前記内筒部材の外 周側に同心状に配置された樹脂製の外筒部材と、前記内 筒部材と前記外筒部材との間に配置されて内筒部材と外 筒部材とを連結したゴム製の弾性体と、ショクアブソー バの外周側に配置されるコイルスプリングを圧縮し、該 コイルスプリングからの付勢力を受けて前記外筒部材に 回転可能に圧接した樹脂製のばね受部材と、を有するも

のである。 【0008】上記構成のストラットマウントによれば、 外筒部材及びばね受部材をそれぞれ形成する樹脂の種類

[0007]

777777

を適宜選択すれば、外筒部材とばね受部材との相対回転 時における摩擦抵抗及び磨耗を抑制できる。さらに外筒 部材及びばね受部材が金属製である場合と比較し、これ らを樹脂製としたことで軽量化及びコスト低減が可能と なる。

【0009】請求項2記載のストラットマウントは、ショクアブソーバのシリンダ部から突出した作動軸が連結される内簡部材と、前記内簡部材の外周側に同心状に配置された樹脂製の外簡部材と、前記内簡部材と前記外簡部材との間に配置されて内簡部材と外簡部材とを連結したゴム製の弾性体と、ショクアブソーバの外周側に配置されるコイルスブリングを圧縮し、該コイルスブリングにより前記外筒部材の方向へ付勢された樹脂製のばね受部材と、前記外筒部材と前記ばね受部材との間に介在してばね受部材を外筒部材に対して回転可能とするリング状の軸受部材と、を有するものである。

【0010】上記構成のストラットマウントによれば、外筒部材及びばね受部材がそれぞれ樹脂製とされ、これらの間に軸受部材が配置されていることから、軸受部材によって相対回転時における外筒部材とばね受部材との20摩擦抵抗を抑制でき、かつ摺動性や耐磨耗性を考慮することなく外筒部材とばね受部材との素材となる樹脂の種類を選択できる。さらに外筒部材及びばね受部材が金属製である場合と比較し、これらを樹脂製としたことで軽量化及びコスト低減が可能となる。

【0011】請求項3記載のストラットマウントは、請求項2記載のストラットマウントにおいて、前記軸受部材は、周方向に沿って互いに摺動可能となるように接した一対の摺動リングを有するものである。

【0012】上記構成のストラットマウントによれば、一対の摺動リングをそれぞれ外筒部材及びばね受部材に固定すれば、外筒部材及びばね受部材の何れもが他の部材と直接摺動することなく相対的に回転可能になるので、外筒部材及びばね受部材が磨耗により損傷したり、偏磨耗等によって摩擦抵抗が増大することを長期的に防止できる。

【0013】請求項4記載のストラットマウントは、請求項2又は3記載のストラットマウントにおいて、前記軸受部材は、インサート成形により前記外筒部材又は前記ばね受部材に埋設固定されたものである。

【0014】上記構成のストラットマウントによれば、軸受部材をインサート成形により外筒部材又はばね受部材に埋設固定することにより、かしめ加工や溶接等によって軸受部材を外筒部材又はばね受部材に固定する場合と比較し、軸受部材を外筒部材又は外筒部材に固定する作業を簡単にできる。

【0015】請求項5記載のストラットマウントは、請求項1,2,3又は4記載のストラットマウントにおいて、前記外筒部材及び前記内筒部材の一方に一体的に設けられたストッパ受部と、前記外筒部材及び前記内筒部 50

材の他方に一体的に設けられ、前記弾性体の変形時に前 記ストッパ受部に当接して作動軸の軸方向への移動を制 限するストッパ部と、を有するものである。

【0016】上記構成のストラットマウントによれば、 部品点数を増やすことなく、ストッパ受部及びストッパ 部をそれぞれ外筒部材及び内筒部材に設け、これらのストッパ受部及びストッパ部によって弾性体の変形時にお ける作動軸の軸方向への移動を制限できる。

[0017]

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態に係る ストラットマウントを図面に基づいて説明する。

【0018】 (第1の実施の形態) HYPERLINK ¥1 "fig 1"図1には本発明による第1の実施の形態に係るストラ ットマウント10が示されている。このストラットマウ ント10は、ショクアブソーバを自動車のボディ12に 連結するためのアッパマウントとして適用されるもので あり、略円筒状のインナー金具14及びこのインナー金 具14の外周側に配置された本体ケース16を備えてい る。またショクアブソーバは、ピストンを内蔵したシリ ンダ部 (図示省略) 及び前記ピストンに連結されてシリ ンダ部から突出した作動軸18を備えている。なお、図 中符号Sはショクアブソーバの軸心を示しており、この 軸心Sに沿った方向を軸方向として以下の説明を行う。 【0019】インナー金具14には軸方向に沿って下部 側に円筒部20が設けられており、この円筒部20には ショクアブソーバの作動軸18の先端部が挿通する軸穴 21が貫通している。またインナー金具14には、円筒 部20の上端部から径方向へ延出するフランジ部22が 一体的に形成されており、このフランジ部22は延出端 30 部が全周に亘り上方へ屈曲されて皿状とされている。こ **とで、インナー金具14は、鉄、ステンレス等の金属か ら形成されている。**

【0020】ショクアブソーバには、作動軸18の先端 部にシリンダ部(図示省略)側より小径とされた挿通部24が設けられ、この挿通部24の先端側には雄ねじ部26が形成されている。作動軸18は挿通部24を軸穴21に挿通させ、この軸穴21を通して雄ねじ部26を円筒部20からボディ12側へ突出させている。作動軸18は、雄ねじ部26にナット28がねじ込まれることによりインナー金具14に同軸的に連結固定されている。

【0021】インナー金具14の外周側に配置された本体ケース16は、例えば、グラスファイバ等の強化繊維を混入した6-6ナイロンにより肉厚リング状に形成されている。本体ケース16の中心部には円柱状の中空部30が軸方向へ貫通しており、この中空部30内にはインナー金具14の上端側が挿入されている。中空部30の内周面とインナー金具14との間にはゴム製の弾性体32が配置されている。この弾性体32はインナー金具14のフランジ部22をコアとして略リング状に成形さ

れており、外周面が中空部30の内周面に接着されている。これにより、インナー金具14と本体ケース16と は弾性体32を介して互いに略同軸的となるように連結 まれる

【0022】本体ケース16には、径方向中間部にスタッドボルト34の基端部が埋設固定されており、このスタッドボルト34は、そのねじ部38を本体ケース16の上面から突出させている。またスタッドボルト34の基端部には、軸方向両端部にそれぞれ径方向へ延出した鍔部36が形成されており、これらの鍔部36によりス10タッドボルト34の軸方向における取付強度を高めている。このようなスタッドボルト34は、車両ボディへの取付強度を確保するために必要となる本数(例えば、3~4本)が本体ケース16に埋設固定され、このスタッドボルト34を介して本体ケース16はボディ12に締結固定されるようになっている。

【0023】一方、ボディ12における本体ケース16の取付部は十分な強度を有する金属板によって構成されており、ことにはスタッドボルト34に対応する取付穴が穿設されている。本体ケース16をボディ12に締結 20固定する際には、スタッドボルト34を取付穴に挿通させた後に、スタッドボルト34にナット42を所定の締結トルクが生じるまでねじ込む。これにより、本体ケース16がボディ12に締結固定される。またボディ12には軸心Sを中心として円形の開口部44が穿設されており、この開口部44によってボディ12と作動軸18の雄ねじ部26との干渉が防止されている。

【0024】本体ケース16の下面には外周縁部に軸心 Sを中心とする円軌跡に沿って環状のガイド溝46が形成されている。また本体ケース16の下面には、ガイド 溝46の内周側に環状の摺動面48が形成されている。 この摺動面48は軸心Sに対して直交するか僅かに傾き、かつ所定の平滑度を有する平面となるように加工されている。

【0025】本体ケース16の下側には、グラスファイバ等の強化繊維を混入した6-6ナイロンにより形成されたスプリングシートケース50が配置されている。スプリングシートケース50は略リング状に形成されており、その中心部には軸方向へ貫通する円柱状の中空部52が形成されている。この中空部52内にはショクアブソーバの作動軸18が挿通している。

【0026】スプリングシートケース50はその上面が本体ケース16の下面に接するように配置されている。とこで、スプリングシートケース50の上面には、本体ケース16のガイド溝46に対応するリブ状のガイド突起54が形成されており、このガイド突起54はガイド溝46内に挿入されている。これにより、スプリングシートケース50と本体ケース16とは互いに同軸的となるように位置決めされる。またスプリングシートケース50には、ガイド突起54の内周側に本体ケース16の50

摺動面48に対応する面形状とされた摺動面56が形成されている。この摺動面56も所定の平滑度を有する平面となるように加工されている。

【0027】スプリングシートケース50の下面には、外周側に周方向に沿って環状の嵌挿溝58が形成されている。この嵌挿溝58は長手直交断面が半円形状とされており、嵌挿溝58内には断面が半円筒状とされたゴム製のスプリングシート60が嵌挿されている。このスプリングシート60の下面には、スプリングシートケース50の嵌挿溝58と同心状となるように半円形状のスプリング溝62が形成されている。このスプリング溝62内には作動軸18の外周側に配置されたコイルスプリング64の上端部が圧接している。

【0028】ととで、コイルスプリング64は、スプリ ングシートケース50とショクアブソーバのシリンダ部 に固定されたロアマウント(図示省略)との間に圧縮状 態とされて配置されている。これにより、スプリングシ ートケース50が常に本体ケース16の方向へ付勢さ れ、スプリングシートケース50の摺動面56は本体ケ ース16の摺動面48へ圧接している。とのとき、本体 ケース16とスプリングシートケース50とは軸心Sを 略中心とする周方向へ相対的に回転可能になっている。 【0029】次に、上記のように構成されたストラット マウント10の作用を説明する。ストラットマウント1 0では、本体ケース16とスプリングシートケース50 とが摺動面48,56を介して互いに圧接し、スプリン グシートケース50が本体ケース16に対して相対的に 回転可能とされていることから、ショクアブソーバの作 動軸18とシリンダ部との間の相対回転(車輪の操舵) が許容され、かつインナー金具14と本体ケース16と の間に介在された弾性体32によりインナー金具14と 本体ケース16との間の径方向及び軸方向における相対 振動が吸収される。

【0030】従って、本実施の形態のストラットマウント10によれば、本体ケース16及びスプリングシートケース50がそれぞれ樹脂からなるので、本体ケース16及びスプリングシートケース50の素材となる樹脂の種類を適宜選択すれば、摺動面48,56間の摩擦抵抗を十分小さくできるので、車輪操舵に必要となる操作力が過大にならない。さらに外筒部材及びばね受部材が金属製である場合と比較し、これらの部品を樹脂製としたことで重量及び製造コストを低減でき、かつ外筒部材とばね受部材との間の摩擦抵抗を軽減するためのベアリングが不要となるので、組立作業が簡略化されると共にコスト低減が可能となる。

[0031]なお、本実施の形態のストラットマウント 10では、本体ケース16及びスプリングシートケース 50をそれぞれ強化繊維を混入した6-6ナイロンを素 材として成形(モールド成形)した場合について説明し たが、摺動面48,56間の摩擦抵抗及び磨耗を抑制す 10

るために、摺動面48を含む本体ケース16の一部又は 摺動面56を含むスプリングシートケース50の一部を 6-6ナイロンとは異なる樹脂、例えば四ふっかエチレン(商品名;テフロン)により形成するようにしてもよい。この場合には、四ふっかエチレンを予めリング状に成形してむき、これをモールド内にインサートとして本体ケース16又はスプリングシートケース50をモールド成形しても、また摺動面48,56の一方又は双方に四ふっかエチレンをコーティングするようにしてもよい。

【0032】(第2の実施の形態) HYPERLINK ¥1 "fiq 1"図2及び図3には本発明による第2の実施の形態に係るストラットマウント70が示されている。なお、図2及び図3では第1の実施の形態に係るストラットマウント10と共通の部材については同一符号を付し、その説明を省略する。このストラットマウント70は、第1の実施の形態に係るストラットマウント10と同様にインナー金具71、本体ケース74及び弾性体76を備えている。

【0033】インナー金具71は、図2に示されるように円筒状のカラー72及びフランジ板73により構成され、フランジ板73はカラー72の上端面に密着するように配置されている。カラー72及びフランジ板73には、それぞれ作動軸18の挿通部24が挿通する軸穴78及び開口部80が形成されている。

【0034】フランジ板73は、図3に示されるように軸方向から見て略長方形の板状とされており、図2に示されるように先端側がクランク状に屈曲されている。これにより、フランジ板73の両先端部にはそれぞれ中央部に対して段差状に高くなったストッパ部82が一体的に形成される。

【0035】作動軸18の挿通部24及び雄ねじ部26には、外周面の一部に弦方向に沿った平面からなる平面部84が形成されている。一方、軸穴78の上端部及び開口部80は、それぞれ作動軸18の平面部84に対応する非円形の断面形状を有している。これにより、作動軸18の挿通部24が軸穴78及び開口部80に挿通した状態では、カラー72及びフランジ板73は回転方向において作動軸18に固定される。

【0036】インナー金具71の外周側に配置された本体ケース74は、例えば、グラスファイバ等の強化繊維を混入した6-6ナイロンにより肉厚リング状に形成されている。本体ケース74の中心部には軸方向へ貫通する中空部88が設けられており、この中空部88内にはインナー金具71のカラー72が配置されている。また本体ケース74の上部には、フランジ板73の長手方向に沿って作動軸18を挟むように一対のストッパ受部90が一体的に成形されている。ストッパ受部90は、図2に示されるようにフランジ板73の長手方向に沿った断面内で軸心Sへ向かって開放した空間を形成してお

り、これら一対のストッパ受部90内にはフランジ板73の一対のストッパ部82がそれぞれ挿入されている。 【0037】カラー72の外周面と中空部88の内周面との間には、図2に示されるように円筒状の弾性体76が配置されており、この弾性体76によって本体ケース74とカラー72とは連結されている。また弾性体76の上端部からは薄肉状とされた一対の被覆部92が延出しており、この被覆部92は一対のストッパ部82の内面全体を覆っている。

【0038】フランシ板73のストッパ部82にはブロック状の弾性片94が固着されており、この弾性片94の上端部及び下端部はそれぞれ被覆部92を介してストッパ受部90内の上下面に圧接している。従って、フランジ板73が作動軸18と一体となって軸方向へ移動すると、ストッパ部82とストッパ受部90とにより弾性片94が圧縮され、作動軸18の軸方向への変位量の増加に伴って弾性片94の変形抵抗が増大する。これにより、作動軸18の軸方向への移動量が過大になることが防止される。

【0039】本体ケース74の下側にはスプリングシートケース50が配置されている。ここで、本体ケース74とスプリングシートケース50とは、第1の実施の形態に係るストラットマウント10と同様に、摺動面48,56を介して相対的に回転可能となっている。

[0040]次に、上記のように構成されたストラットマウント10の作用を説明する。ストラットマウント10では、本体ケース74とスプリングシートケース50とが摺動面48、56を介して互いに圧接し、スプリングシートケース50が本体ケース74に対して相対的に回転可能とされていることから、ショクアブソーバの作動軸18とシリンダ部との間の相対回転(車輪の操舵)が許容され、かつインナー金具71と本体ケース74との間に介在された弾性体76及び弾性片94によりインナー金具14と本体ケース16との間の径方向及び軸方向における相対振動が吸収される。

[0041]従って、本実施の形態のストラットマウント70によっても、第1の実施の形態に係るストラットマウント10と同様な効果を得られる。さらに本実施の形態のストラットマウント70によれば、ストッパ部82がインナー金具71と一体的に形成され、かつストッパ受部90が本体ケース74と一体的に形成されていることにより、部品点数を増やすことなくストッパ部82及びストッパ受部90によって作助軸18の軸方向への移動量を制限できる。

【0042】(第3の実施の形態)図4には本発明による第3の実施の形態に係るストラットマウント100が示されている。なお、図4では第1の実施の形態に係るストラットマウント10と共通の部材については同一符50 号を付し、その説明を省略する。このストラットマウン

20

ト100は、第1の実施の形態に係るストラットマウン ト10と同様にインナー金具102、本体ケース104 及び弾性体106を備えている。

【0043】インナー金具102は、図2に示されるよ うに円筒状のカラー108及び一対のフランジ板11 0, 111により構成され、一対のフランジ板110は カラー108の上端面及び下端面にそれぞれ密着するよ うに配置されている。カラー108及び一対のフランジ 板110には、それぞれ作動軸18の挿通部24が挿通 する軸穴112及び開口部114,115が形成されて 10

【0044】フランジ板110,111は略円板状とさ れており、フランジ板110の外周部には中央部に対し て段差状に高くなったストッパ部116が一体的に形成 され、またフランジ板111の外周部には中央部に対し て段差状に低くなったストッパ部118が一体的に形成 されている。

【0045】作動軸18の挿通部24には、外周面に軸 方向に沿って突起状のキー120が形成されている。一 方、軸穴112の内周面には、作動軸18のキー120 に対応するキー溝122が形成されている。作動軸18 の挿通部24が軸穴78に挿通した状態では、キー12 **0がキー溝122内に挿入される。これにより、カラー** 72は回転方向において作動軸18に固定される。

【0046】インナー金具102の外周側に配置された 本体ケース104は、例えば、グラスファイバ等の強化 繊維を混入した6-6ナイロンによりリング状に形成さ れている。本体ケース104の中心部には軸方向へ貫通 する中空部124が設けられており、この中空部124 の周縁部は作動軸18の軸方向への移動を制限するため のストッパ受部126として構成されている。中空部1 24内にはインナー金具102のカラー108が配置さ れている。一方、フランジ板110はストッパ部116 の先端部をストッパ受部126の上面に対向させ、フラ ンジ板111はストッパ部118の先端部をストッパ受 部126の下面に対向させている。

【0047】カラー108の外周面と中空部124の内 周面との間には円筒状の弾性体106が配置されてお り、この弾性体106によって本体ケース104とカラ -108とは連結されている。また弾性体106の上端 40 部及び下端部からはそれぞれ薄肉状とされた被覆部12 8, 130が延出しており、これらの被覆部128, 1 30はストッパ受部126の上下面及びストッパ部11 6,118の外周面を覆っている。本実施の形態のスト ラットマウント100では、軸方向に沿った作動軸18 の下方への移動がストッパ部116及びストッパ受部1 26により制限され、かつ作動軸18の上方への移動が ストッパ部118及びストッパ受部126により制限さ

10

ートケース132が配置されている。とこで、本体ケー ス104の下面には、軸心Sを中心とする周方向に沿っ て環状の突出部134が形成されており、この突出部1 34の頂面が摺動面136とされている。一方、スプリ ングシートケース132の上面には軸心Sを中心とする 周方向に沿って環状の溝部138が形成されており、こ の溝部138の底面が摺動面140とされている。コイ ルスプリング64により付勢されたスプリングシートケ ース132は溝部138を本体ケース104に嵌挿する と共に摺動面140を本体ケース104の摺動面136 に圧接させる。これにより、スプリングシートケース1 32は、本体ケース104と同軸的に位置決めされると 共に、摺動面136,138を介して相対的に回転可能 となる。

【0049】次に、上記のように構成されたストラット マウント100の作用を説明する。ストラットマウント 100では、本体ケース104とスプリングシートケー ス132とが摺動面136,140を介して互いに圧接 し、スプリングシートケース132が本体ケース104 に対して相対的に回転可能とされていることから、ショ クアブソーバの作動軸18とシリンダ部との間の相対回 転 (車輪の操舵) が許容され、かつインナー金具102 と本体ケース104との間に介在された弾性体106に よりインナー金具102と本体ケース104との間の径 方向及び軸方向における相対振動が吸収される。

【0050】従って、本実施の形態のストラットマウン ト100によっても、第1の実施の形態に係るストラッ トマウント10と同様な効果を得られる。さらに本実施 の形態のストラットマウント100によれば、一対のス トッパ部116がインナー金具102のフランジ板11 0と一体的に形成され、かつストッパ受部126が本体 ケース104と一体的に形成されていることにより、部 品点数を増やすことなくストッパ部116及びストッパ 受部126をそれぞれ設けることができ、これらのスト ッパ部116及びストッパ受部126によって作動軸1 8の軸方向への移動量を制限できる。

【0051】 (第4の実施の形態) HYPERLINK ¥1 "fig 1'図5には本発明による第4の実施の形態に係るストラ ットマウント150が示されている。 とのストラットマ ウント150は、第3の実施の形態に係る本体ケース1 04とスプリングシートケース132との間に摩擦抵抗 を抑制するための軸受部材152を介在させたものであ

【0052】ストラットマウント150の本体ケース1 04には、突起部134の頂面に周方向に沿って環状の 溝部154が形成されている。との溝部154の底面に は一定の間隔毎に嵌合突起156が形成されている。こ の溝部154内にはリング状の軸受部材158が嵌挿さ れている。この軸受部材158の上面には、図6に示さ 【0048】本体ケース104の下側にはスプリングシ 50 れるように一定の間隔毎に嵌合突起156に対応する嵌 合構160が形成されており、軸受部材158が溝部154内に嵌挿された状態では嵌合突起156が嵌合溝160に嵌合する。これにより、軸受部材158の本体ケース104に対する相対回転が防止されている。

11

【0053】とこで、軸受部材158は、スプリングシートケース132の素材となる樹脂(6-6ナイロン)に対して摩擦抵抗が小さく、かつ耐磨耗性が高い材料、例えば四ふっかエチレン(商品名;テフロン)やグラファイト等により形成されている。

【0054】次に、上記のように構成されたストラットマウント100の作用を説明する。ストラットマウント100では、本体ケース104とスプリングシートケース132が本体ケース104に圧接し、スプリングシートケース132が本体ケース104に対して相対的に回転可能とされていることから、ショクアブソーバの作動軸18とシリンダ部との間の相対回転(車輪の操舵)が許容され、かつインナー金具102と本体ケース104との間に介在された弾性体106によりインナー金具102と本体ケース104との間の径方向及び軸方向における相対振動が吸収される。

【0055】従って、本実施の形態のストラットマウント100によっても、第3の実施の形態に係るストラットマウント100と同様な効果を得られる。さらに本実施の形態のストラットマウント150によれば、本体ケース104及びスプリングシートケース132の間に軸受部材158が配置されていることから、この軸受部材158によって相対回転時における本体ケース104とスプリングシートケース132との摩擦抵抗を抑制できるので、操舵時に必要となる操作力を低減でき、かつ摺動性や耐磨耗性を考慮することなく本体ケース104とスプリングシートケース132との素材となる樹脂の種類を選択できるので、素材選択の自由度が拡大する。

【0056】なお、ストラットマウント150では、軸受部材158を溝部154内に嵌挿して本体ケース104に固定したが、本体ケース104をモールド成形する前に、軸受部材158をモールド内の所定の位置にセットしておき、このモールド内に溶融樹脂を注入することにより、軸受部材158を本体ケース105に固定するようにしてもよい。また、このような軸受部材158は必ずしも本体ケース104に固定する必要はなく、スプリングシートケース132に固定するようにしてもよい。

【0057】(第5の実施の形態)図7には本発明による第5の実施の形態に係るストラットマウント170が示されている。このストラットマウント170は、第4の実施の形態に係る軸受部材152の代わりに2分割構造の軸受部材172を用いたものである。軸受部材172は摺動リング174及び摺動リング175を備え、これらの摺動リング174、175は略同一形状とされている。軸受部材172は摺動リング174、175を軸50

方向に沿って積層したものであり、それぞれの接触面が 摺動面176、177とされている。

【0058】ストラットマウント170の本体ケース104には、突起部134の頂面に周方向に沿って環状の溝部178が形成され、この溝部154内には摺動リング174が嵌挿されている。またスプリングシートケース132には、溝部140の底面に周方向に沿って環状の溝部179が形成され、この溝部179内には摺動リング175が嵌挿されている。ここで、軸受部材172の摺動リング174、175は互いに摩擦抵抗が小さく、かつ耐磨耗性が高い材料、例えば四ふっかエチレン(商品名:テフロン)やグラファイト等により形成されている。

[0059]次に、上記のように構成されたストラットマウント170の作用を説明する。ストラットマウント170では、本体ケース104とスプリングシートケース132とが摺動リング174、175を介して互いに圧接し、これらの摺動リング174、175は互いに回転可能とされていることから、ショクアブソーバの作動 18とシリンダ部との間の相対回転(車輪の操舵)が許容され、かつインナー金具102と本体ケース104との間に介在された弾性体106によりインナー金具102と本体ケース104との間の径方向及び軸方向における相対振動が吸収される。

【0060】従って、本実施の形態のストラットマウント170によっても、第4の実施の形態に係るストラットマウント150と同様な効果を得られる。さらに本実施の形態のストラットマウント170によれば、本体ケース104及びスプリングシートケース132の間に軸受部材172が摺動リング174及び摺動リング175からなることから、本体ケース104及びスプリングシートケース132の何れもが他の部材と直接摺動することなく相対的に回転可能になるので、本体ケース104及びスプリングシートケース132が磨耗により損傷したり、偏磨耗等によって摩擦抵抗が増大することを長期的に防止できる。

【0061】なお、ストラットマウント170では、摺動リング174,175を溝部178,179内に嵌挿して本体ケース104及びスプリングシートケース132に固定したが、第4の実施の形態に係る軸受部材158と同様にインサート成形によって摺動リング174,175を本体ケース104及びスプリングシートケース132にそれぞれ固定するようにしてもよい。

[0062]

【発明の効果】以上説明したように本発明のストラット マウントによれば、軽量化が図れるとともに製造が容易 となりコストの低減化が可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明による第1の実施の形態に係るストラットマウントを示す断面図である。

【図2】 本発明による第2の実施の形態に係るストラ ットマウントを示す断面図である。

【図3】本発明による第2の実施の形態に係るストラッ トマウントを示す平面図である。

【図4】 本発明による第3の実施の形態に係るストラ ットマウントを示す断面図である。

【図5】 本発明による第4の実施の形態に係るストラ ットマウントを示す断面図である。

【図6】 本発明による第4の実施の形態に係るストラ ットマウントにおける軸受部材を示す平面図及び側面図 10 である。

【図7】 本発明による第5の実施の形態に係るストラ ットマウントを示す断面図である。

【符号の説明】

ストラットマウント 10

18 作動軸

インナー金具(内筒部材) 14

本体ケース (外筒部材) 16

32 弾性体

スプリングシートケース(ばね受部材) 50

コイルスプリング *****64

ストラットマウント 70

7 1 インナー金具(内筒部材)

本体ケース (外筒部材) 74

76 弾性体

弾性片 (弾性体) 94

100 ストラットマウント

102 インナー金具(内筒部材)

104 本体ケース(外筒部材)

106 弾性体

116 ストッパ部

118 ストッパ部

126 ストッパ受部

132 スプリングシートケース(ばね受部材)

150 ストラットマウント

158 軸受部材

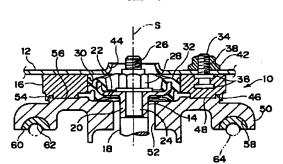
170 ストラットマウント

172 軸受部材

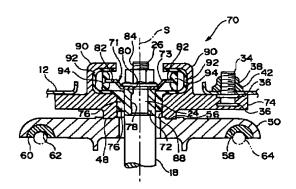
174 摺動リング

*20 175 摺動リング

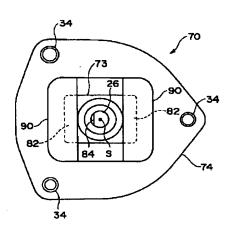
【図1】

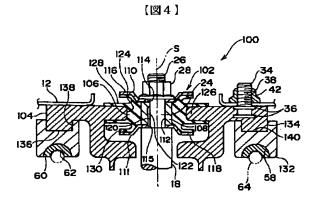


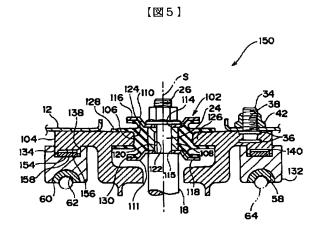
【図2】



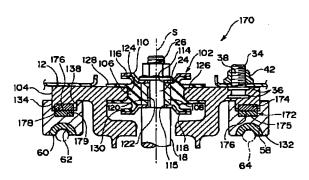
【図3】

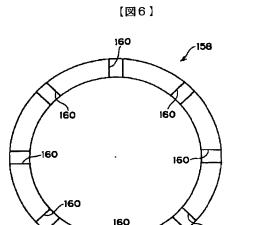














This Page is inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

	BLACK BORDERS
	IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
	FADED TEXT OR DRAWING
	BLURED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
٥	KEWED/SLANTED IMAGES
A	COLORED OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
8	GRAY SCALE DOCUMENTS
	LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
0	REPERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
	OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.
As rescanning documents will not correct images problems checked, please do not report the problems to the IFW Image Problem Mailbox